策定に向けたアンケート結果の公表

町では、新しいまちづくりの指針となる「山田町総合計画（まち・ひと・しごと総合戦略）」の策定に向け取り組んでいます。９月には、この方向性を決めるための貴重な情報となるアンケートを実施しました。ここでは、皆さんから寄せられた回答について公表します。

町が平成27年度中の策定に向けて取り組んでいる「山田町総合計画」。これは、町の最上位計画に位置づけられ、平成28年度から10年間の町政運営の基本指針となるもので、次の５つで構成されます。

①**基本構想**…本町が目指すべき姿の展望と、その実現に向けた施策の大綱を示す

②**基本計画**…基本構想で定めた大綱を具体化するために、各分野で推進する主要な施策を示す（前期・後期計画があり、今回は平成32年度までの前期計画を策定する）

③**人口ビジョン**…本町の人口動向の現状と想定される将来人口を分析し、人口の将来の方向性を示す

④**総合戦略**…地方の人口減少に歯止めをかけ、東京圏への人口集中を是正するため、各地域で住みよい環境の確保と、活力ある社会の実現を目指すための施策を示す

⑤**実施計画**…基本計画で定めた事項を実現するための、財政計画と年度計画を示す

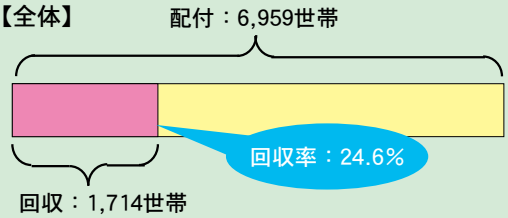
◆　◆　◆

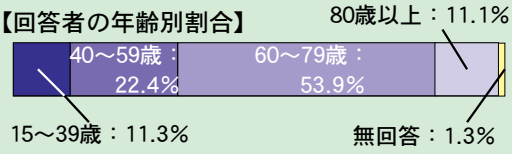
今回のアンケート結果や山田中・豊間根中学校で開催した「中学生からの未来提言」でのご意見などを基に、今後「山田町総合計画（まち・ひと・しごと総合戦略）」が策定されます。

実施結果の概要

▷実施目的　本町における居住意向および居住継続に必要な施策等に関する意向の把握
▷実施期間　平成27年９月１日～15日
▷実施方法　町内外とも広報に添付し、返信封筒により郵送回収

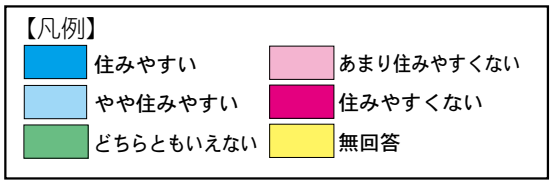
◆配付と回収（回答）の状況



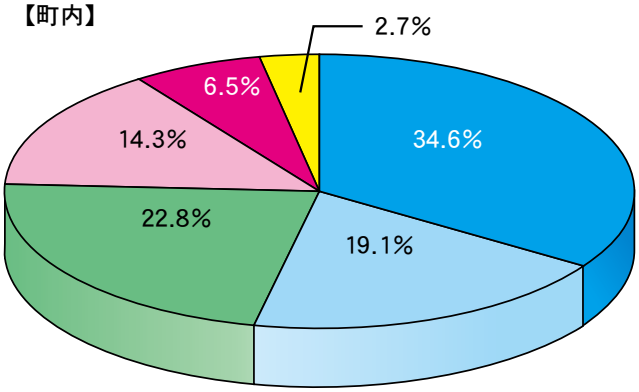


本町の住環境に関する質問

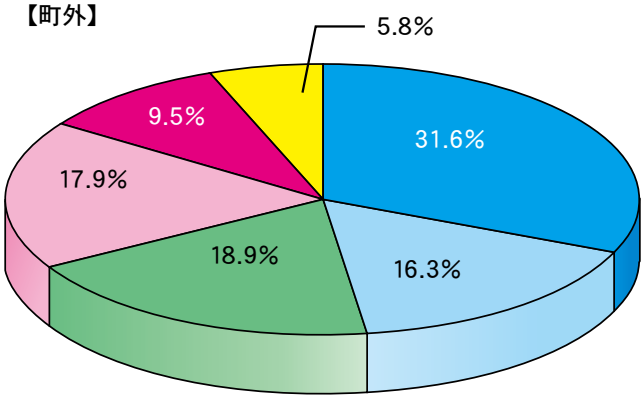
問 山田町を住みやすいまちだと感じますか



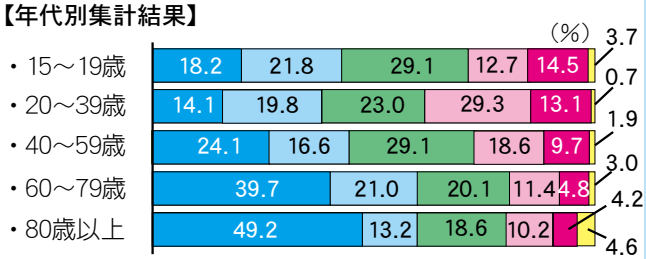
【町内】



【町外】



【年代別集計結果】



【集計結果から分かること】

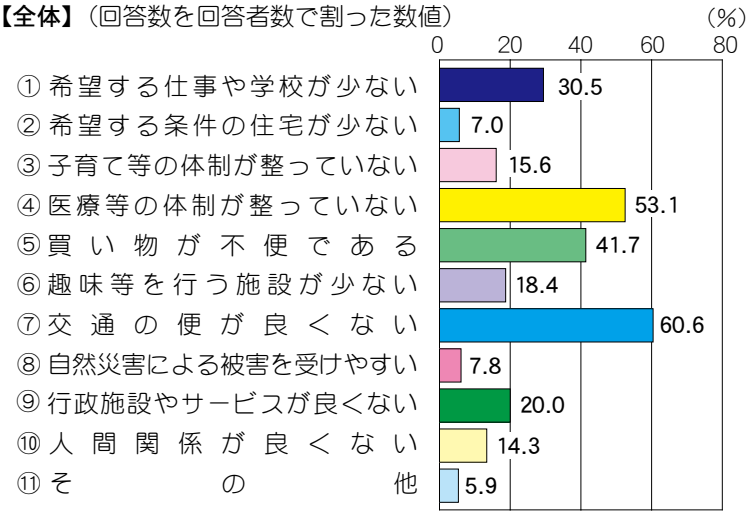
▶町内では「住みやすい」と「やや住みやすい」が半数以上となっているが、町外では「住みやすくない」「あまり住みやすくない」の割合が高くなっている。

▶年代別では、20～39歳において「住みやすくない」「あまり住みやすくない」の割合が高く、高齢になるほど「住みやすい」と感じる割合が高くなっている。

問 山田町の住みにくい点は何ですか（３つまで回答可）

※前設問で「あまり住みやすくない」「住みやすくない」と回答した人のみ

【全体】（回答数を回答者数で割った数値）



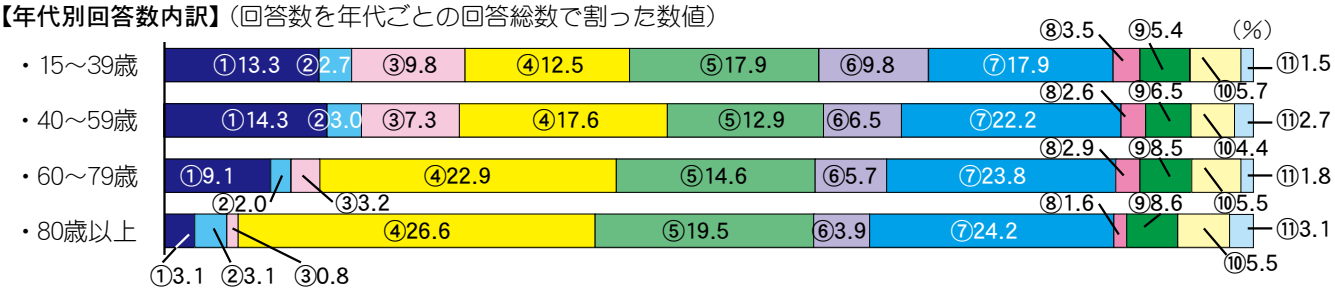
【集計結果から分かること】

▶住みにくい点として最も多く挙げられたのが「⑦交通の便が良くない」であり、次いで「④医療等の体制が整っていない」が多くなっている。

なお地域別では、⑦を選んだ人が多かったのは大浦・小谷鳥地区で、④を選んだ人が多かったのは船越・田の浜地区であった。

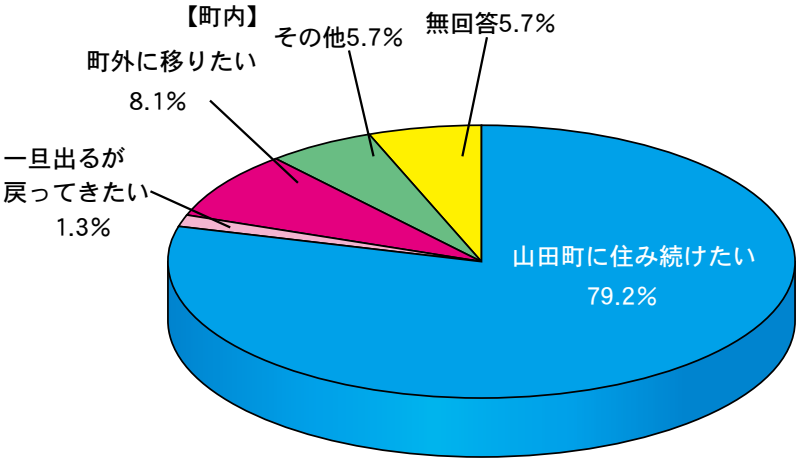
▶年代別では、高齢になるほど④と⑦を選ぶ割合が多くなっている。

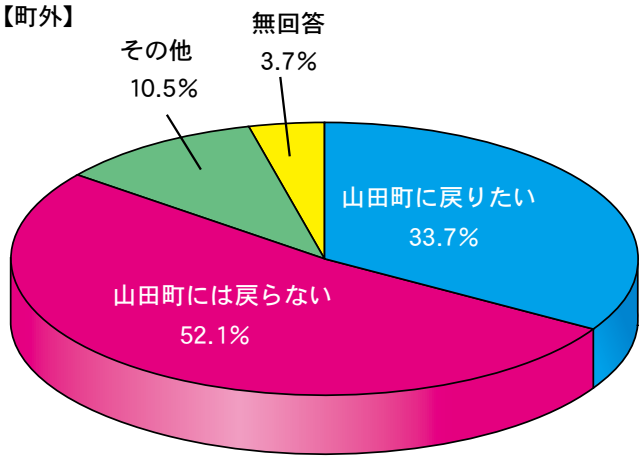
【年代別回答数内訳】（回答数を年代ごとの回答総数で割った数値）



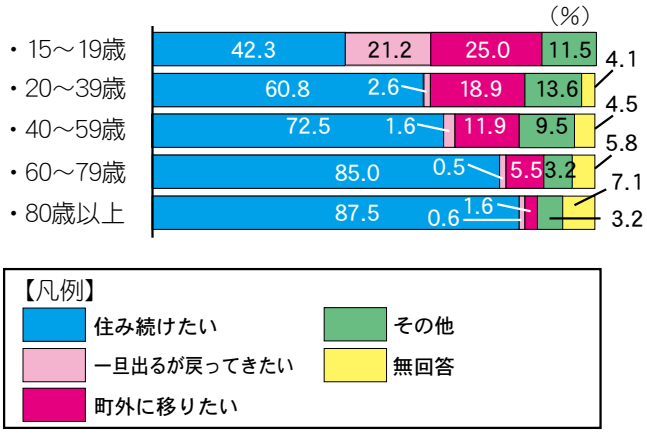
永住・移住に関する質問

問 これからも山田町に住み続けたい（戻りたい）ですか





【町内年代別集計結果】



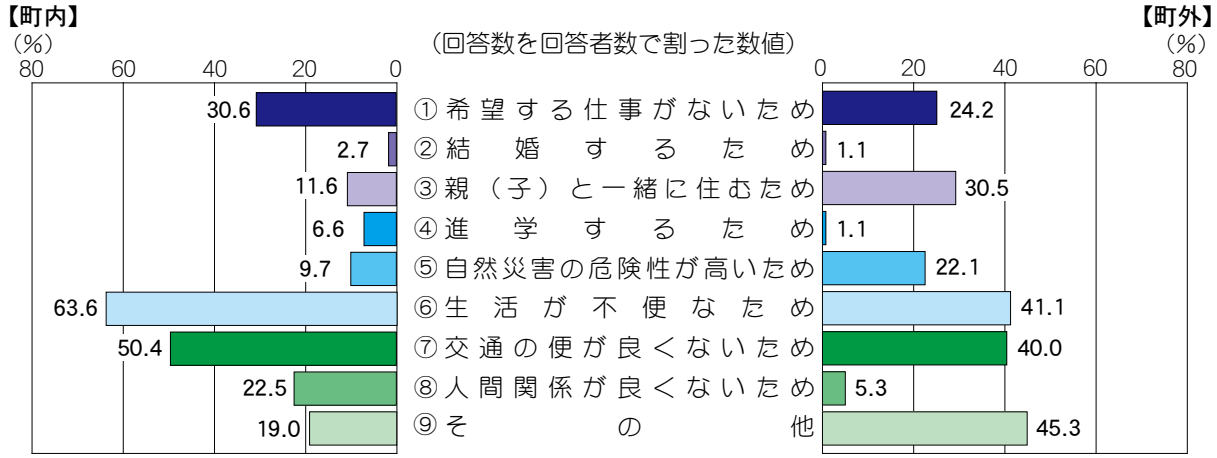
【集計結果から分かること】

▶町内では「住み続けたい」が79.2%に達しているが、町外では「戻らない」が52.1%を占めている。

▶町内の年代別では、若い世代ほど町外に移りたいという意向を多く持っている。
　ただし、15～19歳では「一旦出るが戻ってきたい」が21.2%を占めている。

問 山田町を出ていく（戻りたくない）理由は何ですか（3つまで回答可）

※前設問で「一旦出るが戻ってきたい」「町外に移りたい」「山田町には戻らない」と回答した人のみ



【集計結果から分かること】

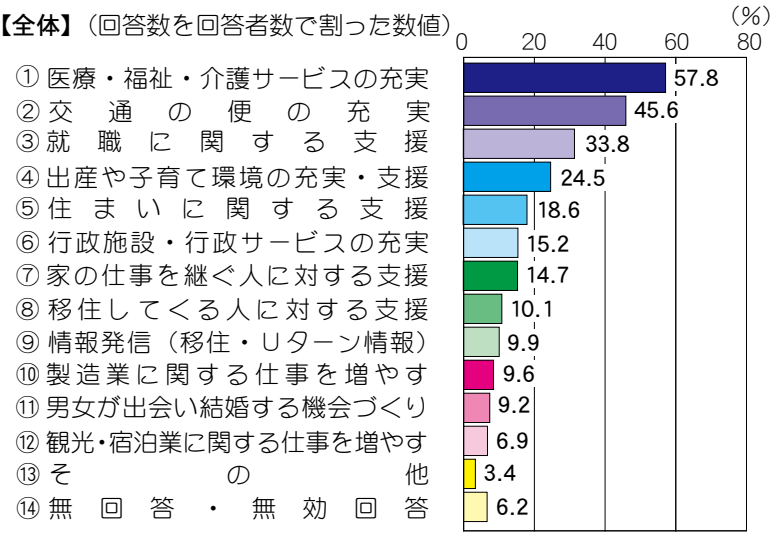
▶町を出る理由では「生活が不便」が最も多く、次いで「交通の便が良くない」、「希望する仕事がない」が多くなっている。また、町外から戻りたくない理由としても「生活が不便」「交通の便が良くない」が多くなっている。

▶「生活が不便」を選ぶ割合が多いのは、年代では50～59歳であり、「交通の便が良くない」を選ぶ割合が多いのは70～79歳であった。

まちづくりに関する質問

問 山田町に住み続けたい、住みたいと思ってもらうには どのような方法が効果的だと思いますか（3つまで回答可）

【全体】（回答数を回答者数で割った数値）



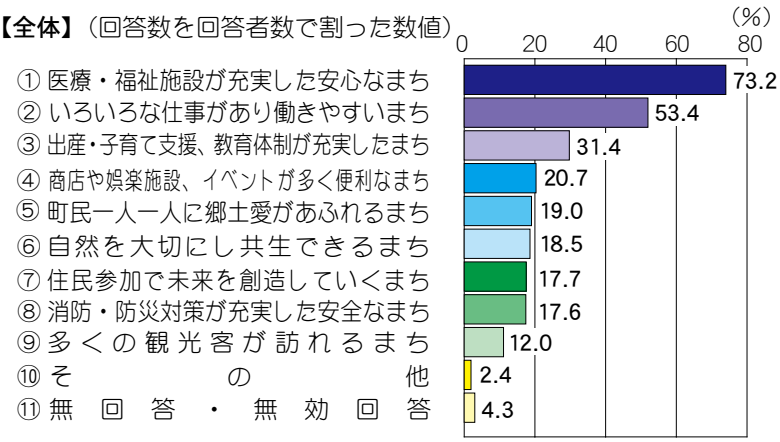
【集計結果から分かること】

▶住みたいと思ってもらうためには、「医療・福祉・介護サービスの向上」と「交通の便の充実」が効果的と考える回答者が多い。特に、高齢になるほど「医療・福祉・介護サービスの向上」を挙げる回答者が多くなる傾向にあった。

▶「就職に関する支援」が効果的とする回答者は40～59歳の年代に多く、「子育てに関する支援」が効果的とする回答者は30～39歳の年代に多かった。

問 山田町は将来どのようなまちになればよいと思いますか（3つまで回答可）

【全体】（回答数を回答者数で割った数値）



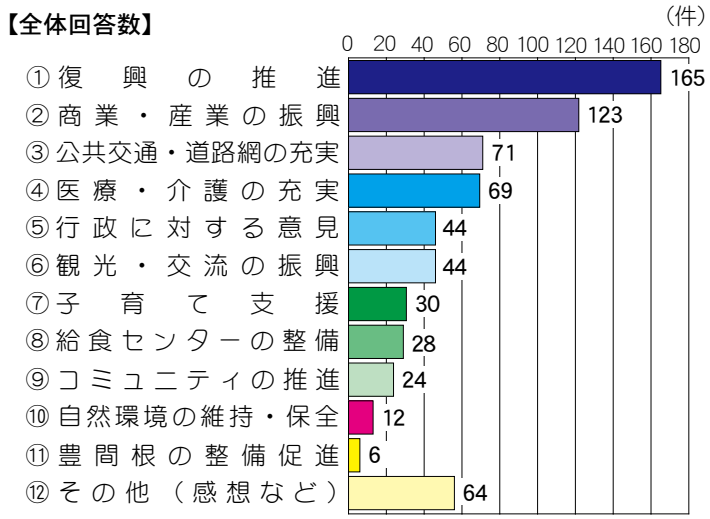
【集計結果から分かること】

▶将来の方向性としては、「医療・福祉施設が充実した安心なまち」が最も多く、次いで「いろいろな仕事があり働きやすいまち」が多くなっている。

▶15～19歳では「商店や娯楽施設、イベントが多く便利なまち」を挙げる回答者が多く、30～39歳では「出産・子育て支援、教育体制が充実したまち」をあげる回答者が多かった。

自由記述 今後のまちづくりに関する考えを教えてください

【全体回答数】



【町内に住む皆さんからの意見】

▶「復興工事を早く進めてほしい」など復興の推進に関する意見が最も多かった。

▶次いで「働く場所を作ってほしい」や「商業施設を増やして欲しい」など商業や産業の振興に関する意見が多数だった。

▶「公共交通・道路網の充実」では、鉄路復旧を望む声が多かった。

【町外に住む皆さんからの意見】

▶町内と同じく「復興の推進」や「商業・産業の振興」に関する意見が多かった。

▶「観光・交流の振興」に関する意見も多く、「商品のＰＲが必要」や「豊かな自然に関する情報発信」などが挙げられていた。